

会 議 次 第

日時 : 平成27年3月18日(水) 17:00~
場所 : 広島県庁 北館2階 第1会議室

1 開会

2 議題

(1)平成26年度の取組状況等について

(2)平成26年度取組状況の評価方法・評価項目について

3 その他

○広島県病院経営外部評価委員会資料

・会議次第

・外部評価委員会 平成26年度のスケジュール (P2)
平成27年度以降のスケジュール (P3)

・2(1) 平成26年度取組状況等について (P4)

・2(2) 平成26年度取組状況の評価方法・評価項目について (P15)

広島県病院経営外部評価委員会

【平成26年度 第3回】

平成27年3月18日(水)



外部評価委員会 【平成26年度のスケジュール】

検討課題	26年度		
	第1回(8月)	第2回(11月)	第3回(3月)
1 点検・評価(経営計画) 〔 取組の検証・評価・公表 〕	◎ (病)取組状況・自己評価 ⇒(委)委員意見, 持ち帰り評価	◇ (病)委員評価・意見資料 ⇒(委)評価取りまとめ ☆評価報告書(26年12月公表)	○ (病)26年度取組状況の評価方法・ 評価項目 ⇒(委)委員意見
2 意見・提言 〔 ・医療の質の向上(病院機能の充実強化, 患者サービスの向上 など) ・経営の効率化 ・次期経営改革の策定に向けての論点 など 〕	○ (委)随時提言 ・各病院が今後取り組むべき方向性 ・病院機能強化策 ・サービス向上策 ・経営効率化 の提案など	○ ・各病院の平成26年度上半期の取組状況について (委)随時提言 ・各病院が今後取り組むべき方向性 ・病院機能強化策 ・サービス向上策 ・経営効率化 の提案など	○ (病)平成26年度の取組状況等について (委)随時提言 ・各病院が今後取り組むべき方向性 ・病院機能強化策 ・サービス向上策 ・経営効率化 の提案など
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○意見・提案・資料要求 ◎中間的なまとめ ◇委員会アウトプット(取りまとめ)</p> </div>			今回

外部評価委員会 【平成27年度以降のスケジュール】

会議名	年度	26年度					27年度		28年度
	四半期	3月	4~6月	7~8月	10~11月	1~3月			
外部評価委員会	取組の点検・評価	第3回 27年3月 【提言・意見】		第1回 27年7~8月 〔26年度の 取組状況・ 自己評価〕	第2回 27年10月~11月 〔26年度の 取組評価〕	第3回 27年1~3月		取組状況の 点検・評価	
	次期経営 計画の策定					<キックオフ>	次期経営計画 に係る意見		
病院経営戦略会議(※)						次期経営計画の 策定	次期経営 計画策定 (29年3月)		
		第5次経営計画 毎月1回開催の病院経営戦略会議において検討							
(参考)	新公立病院改革 ガイドライン	公立病院改革プランの対応検討							
	地域医療構想 策定ガイドライン	県による地域医療構想の策定					地域医療構想を 踏まえた対応	診療報酬改定	

※県立病院課及び各病院の管理者で構成され、経営情報の共有、経営分析、改善策の検討等毎月実施。

2(1) 平成26年度の取組状況等について

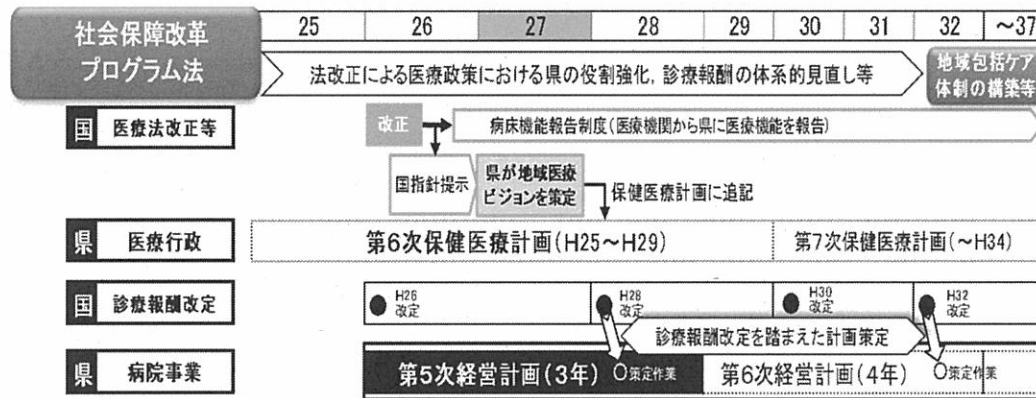
2(1) 平成26年度の取組状況等について

①病院事業を取り巻く環境

(1) 社会保障制度改革

高齢化の進展や医療技術の進歩に伴い、今後更に医療需要が増大することが予想される中、「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」（社会保障改革プログラム法）に沿い、地域医療ビジョンの策定など医療機能の分化・連携等を図る改革が進められており、県立病院においても、求められる機能や役割を踏まえ、これらの変革に適切に対応していく必要がある。

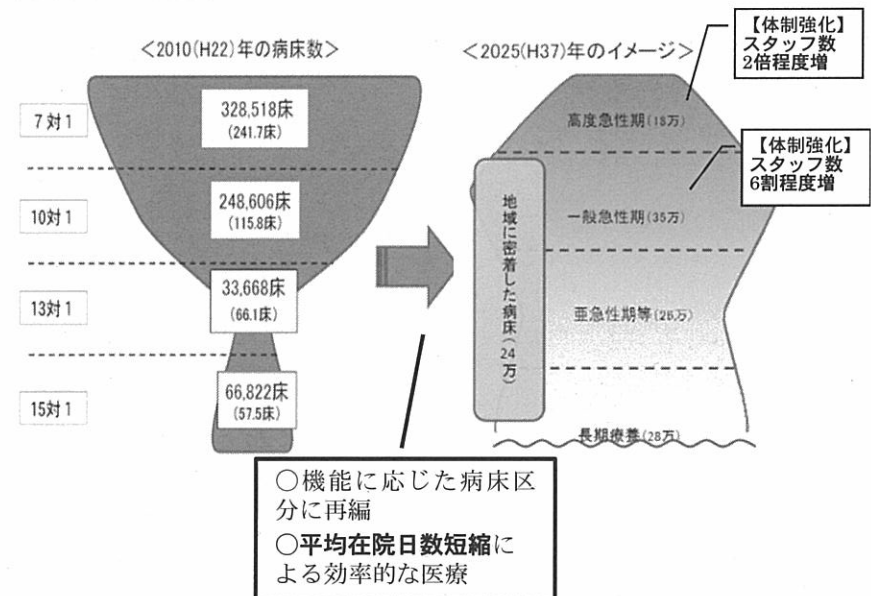
○社会保障制度改革と病院事業経営



第5次病院事業経営計画

平成27年度は「第5次病院事業経営計画（H26～28）」の見直しと平成28年度の「第6次経営計画（H29～32）」の策定に向けた準備を行う。

○病床再編等



- 機能に応じた病床区分に再編
- 平均在院日数短縮による効率的な医療

資料：中央社会保険医療協議会総会（第208回）資料等

(2) 診療報酬改定の影響

平成26年度診療報酬改定は全体で+0.10%の改定であったが、病院の収入面では大きな増収効果は認められず、費用面では材料費や経費等における消費税率引き上げ（5%→8%）の税負担が発生しており、厳しい経営環境となっている。

[平成26年度診療報酬改定]

項目	全体改定率 (A)	うち消費税対応分 (B)	実質改定率 (A-B)
本 体	+0.73%	+0.63%	+0.10%
薬 価 等	▲0.63%	+0.73%	▲1.36%
計	+0.10%	+1.36%	▲1.26%

※ 消費税率引き上げ分を除いた実質診療報酬改定率は、▲1.26%

(3) 会計基準の見直しによる影響

平成26年度から適用の新公営企業会計基準により義務化された引当金について、退職給付引当金を964百万円/年（H26～H30の5年間）計上していく必要がある。

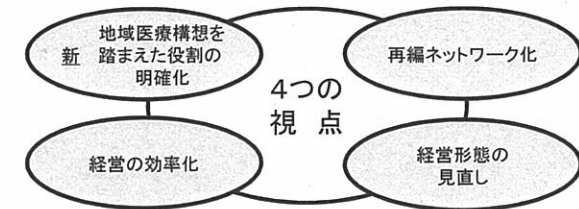
引当金	積算方法	備 考
退職給付引当金	平成26年度末引当不足見込額（4,822百万円）を5年で分割計上（964百万円/年）（H26～H30） ※ 最終的には約52億円の引当金が必要	平成26年度から5年間 平成27年度964百万円計上
賞与引当金	平成26年度見込（425百万円）	平成26年度のみ
貸倒引当金	平成25年度末収金状況から算出（47百万円）	平成26年度のみ

(4) その他

① 新たな公立病院改革ガイドライン【総務省】

○地方公共団体に対する新公立病院改革プラン策定の要請

- i) 策定時期 平成27年度又は平成28年度（地域医療構想の策定状況を踏まえつつ、できるだけ早期に策定）
- ii) プランの内容 現ガイドラインに示している3つの視点（経営の効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直し）に、「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」を加えた『4つの視点』に沿った内容とする。

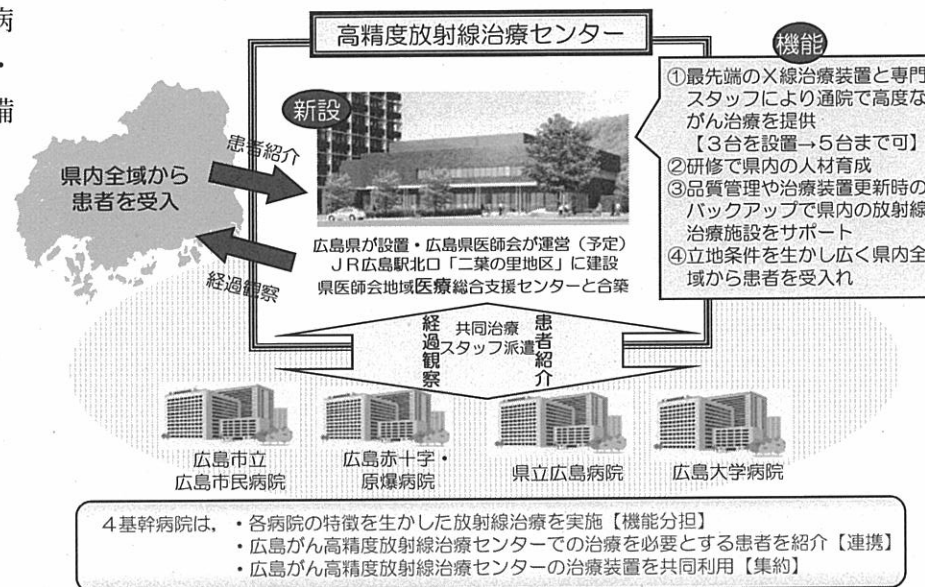


② 広島がん高精度放射線治療センター整備・運営

今後増え続ける放射線治療が適応となる患者に対応するため、4基幹病院（広島大学病院，広島市立広島市民病院，県立広島病院，広島赤十字・原爆病院）の機能分担と連携による広島がん高精度放射線センターを整備（平成27年秋開業予定）

- 【医療機器】 高精度リニアック装置3台，CT装置，MRI装置等
- 【人員体制】 医師：常勤4名（別に4病院から非常勤として派遣）
医学物理士4名，診療放射線技師10名，
看護師8名，事務等3名
- 【治療機能】 がんに対する高精度放射線治療（通院治療のみ）
- 【設置主体】 広島県（広島県医師会に運営委託）

広島がん高精度放射線治療センター事業イメージ図



③ 広島都市圏の医療機能強化

4基幹病院などの医療資源が集中している広島市中心部（広島都市圏）における，将来的な医療の需要見通しなどを踏まえた効果的・効率的な機能分化により，県の地域包括ケアシステムの中核となる医療提供体制の構築等を目指した検討が行われている。

② 平成26年度の取組状況について

【広島病院】

1 医療機能の強化と患者サービスの向上

※数値は、平成26年度の見込値。【 】内は対前年度比。

取組方針	取組項目	平成26年度実績(見込)
医療提供体制の強化	救急医療	<ul style="list-style-type: none"> ○高度・複雑・重症な患者の受入体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ・救急車受入件数:4,961台【+315台】 ・救急外来にクレークを配置(準夜帯の一部及び休日日勤帯)(9/1～) ※病院機能評価の受審結果を受けた対応 ○ドクターヘリ事業への継続的な協力 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に引き続き、週3日を県立広島病院、週4日を広島大学病院が担当 受入件数:67件【+23件】 ※参考:広島大学病院:96件(2月末累計)
	成育医療	<ul style="list-style-type: none"> ○小児・周産期医療機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・27年度からNICUの3床増床・運用開始へ向けた準備(保育器等備品の整備,看護師の募集など) ・小児外科の鼠径ヘルニア手術件数が開設以来累計10,000件突破(1/13) ○生殖医療分野での先進的医療と県行政への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者に対する妊孕性(にんようせい)温存技術の実用化(卵巣凍結組織保存), Y染色体微小欠失分析検査などの開始(4/1～) ・健康対策課作成 若者向けリーフレット「今から考えてみませんか?妊娠・出産のこと」への協力(平成27年2月)
	がん医療	<ul style="list-style-type: none"> ○集学的医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者数:4,164人【+424人】 ・手術室手術件数:6,683件【+111件】 ・遺伝子検査装置の導入 ※細胞を採取し,がんの詳細な診断と患者さんに最適な治療法(抗がん剤)を選択するための検査装置 ・「腫瘍センター」設置準備 東6病棟にカンファレンス室を整備(2/4) ・がん専門医よろず相談所の開設(6/15) 各相談時間1時間<無料> 相談件数209件(7/15～2/28) 院内患者14%, 院外患者85% 開設記念講演会の開催(7/5), 医療従事者向け講演会の開催(10/16)
	在宅医療連携・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○脳心臓血管センター <ul style="list-style-type: none"> ・センターの設置(4/1～) バスキュラーボードの開始(4/3～) ※毎月2回開催 ・開設記念講演会の開催(9/25), 病診連携カンファレンスの開催(10/23), 一般県民向け講演会の開催(11/29) ・「脳心臓血管管理手帳」の発行による本格稼働開始(10/1～) ・アンギオに係る手術件数(冠動脈形成術, 脳血管内治療など):628人【+52人】 ○その他の医療機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・リウマチ科, 形成外科の設置(4/1～) ・高気圧酸素治療装置の設置(2/22) 4/1運用開始予定
	地域医療への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ○地域連携の推進など <ul style="list-style-type: none"> ・医師同伴の医療機関訪問件数119件【+104件】 ・紹介率, 逆紹介率 紹介率:87.6%【+4.8P】, 逆紹介率:88.6%【+8.6P】 ・KBネット接続医療機関数 44件【+8件】 累計接続機関数200件(2月末) ・新連携機関証の発行開始(8/12～) ・地区医師会との懇談会の開催 広島市西区(6/27), 広島市東区(11/21), 広島市中区(2/20) ・法務大臣から感謝状を受領(矯正行政への協力を評価)(7/16)

取組方針	取組項目	平成26年度実績(見込)
医療の安全と質の向上	医療の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○質の向上と高度急性期病院へ向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・DPC病院Ⅱ群プロジェクトチームの取組:各診療科医師との巡回ミーティングの開催 活動により、診療密度が上昇(推計値:2,425→2,600) ・全国自治体病院協議会主催「医療の質の評価・公表等推進事業」へ参加(10月～) ・PFMシステムの試行運用、PFMサポートナースの配置(地域連携センター)し、27年度から進める「入院サポートシステム」の準備を開始 <ul style="list-style-type: none"> ※PFM:Patient Flow Management 患者さんの入院から退院までの流れを円滑にする方式 ・バージニア・メイスン生産方式(VMPS)の導入検討:バージニア・メイスン病院のセミナーに職員4名を派遣(平成26年8月) 病院事業局内報告会の開催(10/8) キックオフ講演会の開催(1/29):講師 麻生飯塚病院副院長 TQM研修の開催(3/7) ※TQM:Total Quality Management ※VMPS:トヨタ生産方式をベースにした改善活動により医療安全及び医療の質の向上を図る米国バージニア・メイスン病院のシステム
	患者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ○駐車場不足、待ち時間短縮、利便性の向上への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・午後診療の勧奨(午前予約外来患者→午後予約へ変更:累計778人) ・外来者用の駐車スペース8台分を増設 ・無料送迎バスの運行について準備開始 ・広島南道路開通に伴い、国道2号線交差点に「県立広島病院」の標識を設置(国土交通省 広島国道事務所へ依頼) ○療養環境改善への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・南5病棟トイレ・浴室改修工事、緩衝床整備工事、個室改修工事を実施(工期:平成26年10月～平成27年2月) ・主要委託業者と管理者の面談 13回(12/17～2/18):業務委託の内容についての意見交換、業者側からの要望を聴取
広報の充実	広報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○講演会、各種行事への参画による医療情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・地域健康フォーラム「意外と知らない肺の病気」の共催(広島市南区医師会、広島市南区地域保健対策協議会) 10/4 ・地域巡回講演会の開催 28回【昨年度同数】

2 人材の育成・派遣機能の強化

取組方針	取組項目	平成26年度実績(見込)
医師の育成確保	医師の育成確保	<ul style="list-style-type: none"> ○初期臨床研修医の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度初期臨床研修マッチングの状況:定員16人(2増) ⇒マッチング者数16人 8年連続フルマッチ ・中四国の臨床研修病院の人気ランキングで2位(m3.comより) ○医師の負担軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・宿直明け医師の負担軽減の実施:翌日勤務時間の短縮化(6/1～)
看護師等の確保・育成	看護師等コメディカル確保・育成等	<ul style="list-style-type: none"> ○認定・専門資格などを有する人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師の養成 平成26年度受講者3人(がん化学療法、透析、不妊症) ・西中国県立中央病院間での看護師相互派遣(2/16～2/27)1名 テーマ:救急看護
派遣機能の強化	医療人材の派遣等	<ul style="list-style-type: none"> ○看護師、助産師の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師派遣:2人(市立三次中央病院) ・助産師派遣:1人(香月産婦人科 指導者派遣)

3 危機管理対応能力と経営力の強化

取組方針	取組項目	平成26年度実績(見込)
危機管理対応力の強化	災害・感染症対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○災害発生対策、院内感染防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ・8月発生の土砂災害時にDMAT隊2隊を災害発生現場へ派遣 被災者を病院へ受入れ(8/20～8/21) 院内反省会の開催(9/8) ・東日本大震災を踏まえた災害マニュアルの改定(8月改定) ・日本集団災害医学会「病院災害対策マニュアル・コンペティション」にて「会長賞」を受賞(2/27) ・院内災害対応訓練の実施(1/21) 南区医師会から2名参加 ・非常用自家発電機の屋上設置:平成25年度設計 平成26～27年度で工事実施(平成28年3月完成予定)
経営力の強化	情報共有とPDCA	<ul style="list-style-type: none"> ○新規入院患者増加への取組、経営に関する研修の受講支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新規入院患者向上について管理者ヒアリング実施 41回(10/10～1/21) ・特定非営利法人 日本医療経営機構 医療経営人材育成プログラムへ副院長級職員参加(1人)
費用合理化対策	適正な材料備品の購入	<ul style="list-style-type: none"> ○後発医薬品の利用拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・数量ベース比率60%をめざし利用を拡大 2月末現在 69.9%
	経費の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○光熱水費の節約、省エネルギー対策 <ul style="list-style-type: none"> ・病院の植栽・植木への散水方法の見直し

【安芸津病院】

※ 数値は、H26年度の見込値。【 】内は前年度実績。

取組方針	取組項目	平成26年度実績(見込)
医療提供体制の強化	地域に必要な医療の提供と持続可能な運営体制の確立	<p>○整形外科の強化 地域に少ない整形外科診療の核として、手術から投薬治療等まで幅広い専門診療機能の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関節リウマチに対する生物学的製剤治療件数:125件【81件】 ・骨粗しょう症に対する投薬治療件数:1,650件【 - 】 ・整形外科手術件数(手術室分):250件【261件】 うち人工関節手術:83件【82件】
		<p>○消化器内科の専門性の発揮 病気の早期発見・治療と地域の内視鏡検査の中心的役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症性腸疾患にかかる特殊治療(GCAP, レミケード)件数:180件【171件】 ・内視鏡によるがん検診(胃・大腸)件数:240件【193件】
		<p>○外科診療体制拡充の効果発揮 住民の地域内での治療・療養体制の充実、地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外科手術件数(手術室分):145件【115件】 ・外科でのがん化学療法実施件数:210件【171件】 ・救急搬送受入件数380件【320件】
		<p>○がん検診・特定健診等の受入体制の強化 地域一帯で住民の健康を支える体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診件数:2,050件【1,765件】 うちがん検診:1,400件【1,051件】 ・マンモグラフィ検査件数:135件【121件】
	地域包括ケアへの取組強化	<p>○介護・福祉行政等との連携ネットワークの中核として、住民の安心を支える活動拠点、他地域への普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援連携指導料算定件数:120件【129件】 ・訪問看護件数1,800件【1,798件】 ・退院後72時間以内の電話訪問770件【514件】 ・地域開放型研修会の開催12件【12件】 ・地域の高齢者サロン等での出前講座:11件【5件】 ・地域包括ケア会議の開催:4件 ※H25はモデル事業実施 ・地域包括ケア病床の運用開始(7月～, 15床) ※11月～, 21床 (7月～2月の稼働率98.3%) ・転倒予防体操(転倒なしのサンバ)DVDの作成・関係機関等への配布 ・大崎上島町・県地域包括ケア推進センター主催の在宅療養推進のためのシンポジウム「在宅での看取りを考える」に参画

③ 平成27年度の主な取組

【広島病院】

取組方針	取組項目	平成27年度における主な取組
医療提供体制の強化	救急医療	○ドクターヘリ事業への継続的な協力 ・平成26年度に引き続き、週3日を県立広島病院、週4日を広島大学病院が担当
	成育医療	○NICUの増床 増加する低体重出生児の受入体制を強化 ・27年度から3床増床・運用開始 ・年間目標患者数 9,100人
	がん医療	○集学的医療の推進 ・「腫瘍センター」の設置と稼動 ～「人にやさしいがん医療」～をキーワードに集学的医療・チーム医療を実施 ○患者相談体制の充実 ・「がん専門医よろず相談所」 医師による無償の相談：がんに関するあらゆる悩みに対応
	在宅医療連携・その他	○脳心臓血管センター ・病診連携カンファレンスの開催、一般県民向け講演会の開催、救命救急士を対象とした症例検討会の開催 ・「脳心臓血管管理手帳」の発行 ・「バスキュラーボード」の継続 医師による脳心臓血管疾病の症例検討及びミニレクチャーによる相互の研さん ※毎月2回開催 ○その他の医療機能強化 ・高気圧酸素治療装置の運用開始 当面の間「突発性難聴」に対応
医療の安全と質の向上	医療の質の向上	○質の向上へ向けた取組 ・改善推進部設置による改善活動の実施 ・トヨタ生産方式をベースとした業務改善の推進(患者待ち時間対策への取組強化等) TQMサークル活動(Total Quality Management)方式による業務改善と質の向上への取組 :チームを編成し、全国大会での発表をめざす 5S活動(整理, 整頓, 清掃, 清潔, 躰)の推進 :医療材料や文書, 情報の片づけを進め業務の効率化を図る ・入院サポートシステム(PFM)の実施 ※PFM: Patient Flow Management 患者さんの入院から退院までの流れを円滑にする方式 ・全国自治体病院協議会主催「医療の質の評価・公表等推進事業」へ参加 ・DPC病院Ⅱ群プロジェクトチームの取組:各診療科医師との巡回ミーティングの開催
	患者サービスの向上	○駐車場不足, 待ち時間短縮への取組 ・無料送迎バスの運行 ・予約診療の方式の変更 ○療養環境改善への取組 ・南病棟トイレ・浴室改修工事, 緩衝床整備工事, 個室改修工事を実施

【安芸津病院】

取組項目		平成27年度における主な取組
地域に必要な医療の提供	整形外科の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○専門性の高い手術から外来診療まで、地域に少ない整形外科機能の確保とともに、寝たきり防止や転倒予防のための啓発活動等の取組を推進 ○リハビリ強化及び地域包括ケア病床の活用により、在宅復帰、在宅療養の支援を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション提供体制の強化（理学療法士1人増 4人→5人） ○骨粗鬆症や関節リウマチに対する新しい治療薬の積極的導入など専門治療の強化により、骨折による寝たきりの防止やADLの向上を推進
	消化器内科の専門性発揮 《内視鏡検査ステーションの設置》	<ul style="list-style-type: none"> ○病気の早期発見・治療と地域の内視鏡検査の中心的役割を果たす <ul style="list-style-type: none"> ・開業医との連携体制構築、住民への受診奨励等
	外科診療体制 拡充の効果発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○住民の地域内での治療・療養体制の充実、地域医療水準の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域での治療・療養（＝安心確保）を行うための体制を確保し、引き続き地域の2次救急体制機能を担う
	地域一体で住民の健康を支える体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診・特定健診等の受入強化 <ul style="list-style-type: none"> がん検診等の受診率の向上、地域での総合的ながん対策の実施・支援 ○地域における緩和ケアの推進 ⇒ 緩和ケア科の新設(予定) ○地域の禁煙推進に向けた活動の強化
	地域包括ケアへの取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ○介護・福祉・行政等との連携ネットワークの中核として、住民の安心を支える活動拠点、他地域への普及(モデル的取組の実践) ○地域包括ケア病床の運用開始(H26.7～15床, H26.11～21床(6床増床))によるリハビリ・在宅復帰支援の強化 ○在宅療養を支える取組のさらなる推進

④目標指標の状況（平成26年度見込・27年度目標）

1 医療機能に関する指標

【広島病院】

区 分	H25	H26	H26(見込)	H26	達成 状況	H27
	実績	実績(見込)	-H25 ②-①	年間目標		年間目標
新規入院患者数	15,117人	16,142人	1,025人	16,200人		17,000人
平均在院日数	12.0日	10.8日	△1.2日	12.0日	☆	10.5日
紹介率	82.8%	87.6%	4.8%	78%	☆	89.0%
逆紹介率	79.9%	88.6%	8.7%	78%	☆	90.0%
救急車受入台数	4,646台	4,961台	315台	5,120台		5,500台
NICU・GCU患者受入数	9,757人	8,847人	▲910人	8,800人	☆	9,100人
がん患者数	3,740人	4,164人	424人	3,700人	☆	3,885人
全身麻酔手術件数	3,948人	4,104件	156人	4,180件	☆	4,360件
看護必要度を満たす患者の割合	18.2%	19.8%	1.6%	17.6%	☆	17.8%

【安芸津病院】

区 分	H25	H26	H26(見込)	H26	達成 状況	H27
	実績	実績(見込)	-H25 ②-①	年間目標		年間目標
新規入院患者数	111.5人/月	104人/月	▲7.5人/月	120人/月		120人/月
紹介率	16.1%	18%	1.9%	20%		20%
手術件数	31.3件/月	33件/月	1.7件/月	30件/月	☆	30件/月
内視鏡検査件数	164.1件/月	130件/月	▲34.1件/月	203件/月		203件/月
介護支援連携指導料加算件数	10.7件/月	10.4件/月	▲0.3件/月	10件/月	☆	10件/月
訪問看護件数	149.8件/月	150件/月	0.2件/月	140件/月	☆	140件/月
検(健)診件数	7.2件/日	8.4件/日	1.2件/月	6件/日	☆	8件/日

2 経営に関する指標

【広島病院】

区分	①H25	②H26(見込)	H26(見込)- H25 ②-①	H27(目標)
新規入院患者数(人)	15,117	16,142	1,025	17,000
平均在院日数(日)	12.0	10.8	△ 1.2	10.5
入院単価(円)	62,762	65,000	2,238	64,910
延入院患者数(人)	222,272	216,527	▲ 5,745	231,744
病床利用率(700床)	87.0%	84.7%	▲ 2.3%	90.5%
延外来患者数(人)	319,942	315,460	▲ 4,482	316,386
外来単価(円)	15,577	16,310	734	16,305

損益の状況

単位:百万円

	①H25	②H26(見込)	H26(見込)-H25 ②-①	H27(予算)
医業収益	19,466	19,763	297	20,767
入院収益	13,950	14,074	124	15,043
外来収益	4,984	5,145	161	5,159
医業外収益	1,623	2,007	384	2,016
特別利益	5	60	55	30
収益合計	21,095	21,830	735	22,814
医業費用	19,623	20,973	1,349	21,168
給与費	10,348	11,130	782	11,036
材料費	5,446	5,753	307	5,904
医業外費用	1,008	755	△ 253	696
特別損失	24	1,398	1,373	939
費用合計	20,655	23,125	2,470	22,803
経常損益	459	43	▲ 416	920
純損益	440	▲ 1,295	▲ 1,735	11

【安芸津病院】

区分	①H25	②H26(見込)	H26(見込)- H25 ②-①	H27(目標)
新規入院患者数(人)	1,338	1,250	△ 88	1,440
平均在院日数(日)	20.0	19.0	▲ 1.0	21日以内
入院単価(円)	31,611	32,899	1,288	34,248
延入院患者数(人)	30,546	30,642	96	33,127
病床利用率(100床)	83.7%	84.0%	0.3%	90.5%
延外来患者数(人)	75,709	74,920	▲ 789	78,222
外来単価(円)	6,873	7,450	577	7,570

損益の状況

単位:百万円

	①H25	②H26(見込)	H26(見込)-H25 ②-①	H27(予算)
医業収益	1,593	1,679	85	1,836
入院収益	966	1,008	43	1,135
外来収益	520	558	38	592
医業外収益	282	328	46	330
特別利益	0	3	3	0
収益合計	1,876	2,011	135	2,166
医業費用	1,894	2,010	116	2,046
給与費	1,120	1,163	43	1,162
材料費	296	343	47	372
医業外費用	53	16	△ 37	16
特別損失	5	126	122	73
費用合計	1,952	2,152	201	2,134
経常損益	▲ 71	▲ 19	52	104
純損益	▲ 76	▲ 142	▲ 66	31

2(2) 平成26年度取組状況の 評価方法・評価項目について

2(2)平成26年度取組状況の評価方法・評価項目

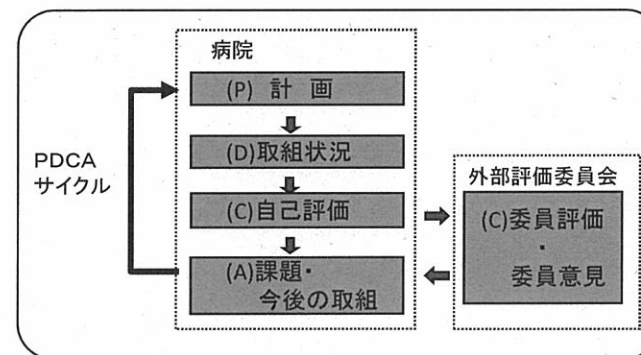
1 評価の考え方

広島県病院事業経営計画(以下「経営計画」という。)で定めた県立病院としての役割や具体的取組の進捗状況を総合的に評価する。

また、取組結果としての経営指標の達成状況を明らかにする。

2 評価方法

- 評価は病院ごと ■評価は◎○△×の4段階 ■自己評価 ■委員による評価
- 評価の補足として、意見を併記(委員側：評価意見等，病院側：評価理由・課題)
- ※委員意見は、評価・改善・計画見直しなど幅広く
- 継続的な取組みとなるよう、P⇒D⇒C⇒Aの手法を採用



3 評価基準

別紙評価表の取組方針毎に、下記の区分により4段階評価する。

区分	評価	評価の考え方
計画どおり概ね順調である。	◎	計画の達成に向けた、具体的成果がある。又は目標を達成した。
ほぼ順調である。	○	計画に対して具体的に取組んでおり、一定の成果が認められる。
やや遅れている。	△	計画に対する取組はあるものの、まだ成果に現れていない。取組が不十分。
かなり遅れている。	×	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的。

4 評価のスケジュール(案)



【広島病院】

平成25年度 取組状況の評価項目

番号	取組方針	取組項目
1 医療機能の強化		
1	救急医療機能の強化	救急患者受入体制の強化 脳・循環器系疾患の救急対応 ドクターヘリの運用協力・支援
2	周産期医療提供体制の強化	成育医療センターの本格稼働 安全な分娩体制の確立
3	がん診療機能の強化	特色を生かした機能の充実
4	医療の安全と質の向上	電子カルテ、クリニカルパスの活用 相談機能・地域連携の強化 医療安全の確保 など

2 医療人材の育成・派遣機能の強化		
5	人材の確保・教育・派遣	医師の確保・育成 勤務環境の改善 医療人材の育成・派遣

3 患者サービスの向上と経営の効率化		
6	患者サービスの向上	利便性の向上 広報充実 患者ニーズの把握
7	経営の効率化	増収対策 医業収益の増加策 患者負担の適正化 未収金対策 など
8		費用合理化対策 材料費、備品購入費の削減 経費の見直し 施設・医療機器の計画的・重点的な整備
9		経営機能の強化 弾力的な医療人材の採用・配置 職員の経営参画意識の醸成

4 連携強化		
10	地域連携状況等	地域医療連携の推進 院外における諸活動 実習受入及び専門研修
11	(2病院)協力状況	医薬品の共同購入 医療機能維持・質の向上へ協力

5 決算、目標指標		
12	収支改善、目標指標	

※第5次広島県病院事業経営計画(平成26年度～28年度)の取組

平成26年度 取組状況の評価項目(案)

番号	取組方針	H26取組項目(案)
1 医療機能の強化と患者サービスの向上		
1	救急医療機能の強化	高度・複雑・重症な救急患者の受入体制を強化 ドクターヘリの運用協力・支援
2	成育医療機能の強化	低出生体重児等の受入体制の強化 成育医療センターの機能強化 安全な分娩体制の確立
3	がん医療機能の強化	広島がん高精度放射線治療センターとの連携 「人にやさしいがん医療」の提供
4	地域医療への貢献	地域医療連携の推進
5	医療の安全と質の向上	医療安全の確保 医療の質の向上
6	患者サービスの向上	利便性の向上 患者ニーズ等への的確な対応と患者支援の充実 広報の充実

2 人材育成・確保・派遣機能の強化		
7	医療人材の育成・確保・派遣	医師の育成・確保 看護師等コメディカルの確保・育成等 医療人材の派遣等

3 危機管理対応力と経営力の強化		
8	危機管理対応力の強化	災害・感染症対策の強化
9	経営力の強化	情報共有とPDCAサイクル 事務部門の強化
10	増収対策	医業収益の増加策 患者負担の適正化 未収金対策 など
11	費用合理化対策	適正な材料・備品の購入 経費の見直し

4 2病院の協力状況		
12	2病院の協力状況	医薬品の共同購入 医療機能維持・質の向上へ協力

5 決算、目標指標		
13	収支改善、目標指標	

【安芸津病院】

平成25年度 取組状況の評価項目

番号	取組方針	取組項目
1 医療機能の強化		
1	地域と一体となった医療の提供	地域医療機関の補完体制の確立 医療情報の発信 在宅医療支援の推進
2	政策医療の実施	二次救急医療機能の維持・運営 小児医療の維持・運営
3	医療の安全と質の向上	電子カルテ、クリニカルパスの活用 相談機能・地域連携機能の強化 チーム医療の充実 医療安全の確保
2 医療人材の育成・派遣機能の強化		
4	人材の確保・教育・派遣	医師の確保・育成 看護師等コメディカルの確保・育成 医療人材の派遣・育成
3 患者サービスの向上と経営の効率化		
5	患者サービスの向上	利便性の向上 広報充実 患者ニーズの把握
6	経営の効率化	増収対策 医業収益の増加策 患者負担の適正化 診療報酬請求の改善 未収金対策
		費用合理化対策 材料費、備品購入費の削減 経費の見直し 施設・医療機器の計画的・重点的な整備
8	経営機能の強化	経営機能の強化 職員の経営参画意識の醸成
4 連携強化		
9	(2病院)協力状況	医薬品の共同購入 医療機能維持・質の向上への協力
5 決算、目標指標		
10	収支改善、目標指標	

※第5次広島県病院事業経営計画(平成26年度～28年度)の取組

平成26年度 取組状況の評価項目(案)

番号	取組方針	H26取組項目(案)
1 医療機能の強化と患者サービスの向上		
1	地域に必要な医療の提供	小児医療、二次救急医療体制の維持・運営 在宅療養支援 がん検診等の受入強化 地域包括ケアへの取組強化
2	医療の安全と質の向上	医療安全の確保 医療の質の向上
3	患者サービスの向上	利便性の向上 患者ニーズ等への的確な対応と患者支援の充実 広報の充実
2 人材育成・確保・派遣機能の強化		
4	医療人材の育成・確保・派遣	医師の育成・確保 看護師等コメディカルの確保・育成等 医療人材の派遣等
3 危機管理対応力と経営力の強化		
5	新規 危機管理対応力の強化	災害・感染症対策の強化
6	経営力の強化	情報共有とPDCAサイクル 事務部門の強化
7	増収対策	医業収益の増加策 患者負担の適正化 診療報酬請求の改善 未収金対策
8	費用合理化対策	適正な材料・備品の購入 経費の見直し
4 連携強化		
9	(2病院)協力状況	医薬品の共同購入 医療機能維持・質の向上へ協力
5 決算、目標指標		
10	収支改善、目標指標	